



民主党埼玉県第1区総支部

衆議院議員

たけまさ公一 国会レポート

平成18年 第60号

Koichi Takemasa



目次

総理と30分のやりとり!

(十一月二十八日 衆議院総務委員会)

防衛省昇格には賛成!

(十一月二十九日・衆議院安全保障委員会)

官製談合防止法で質疑!

(十一月二十九日・衆議院経済産業委員会)

Koichi Takemasa Information

日々ブログ更新中! たけまさ公一のサイトへお越しく下さい

<http://www.takemasa.org>

携帯版のアドレスはこちら

<http://www.takemasa.org/i>

皆様のご意見をお待ちしています

voice@takemasa.org

総理と 30 分のやり取り！

(衆議院総務委員会 11月28日)

地方分権改革推進法案についての締めくくり総括質疑が行われ、安倍総理とは以下の質疑を行いました。(下記の表参照)

「拉致問題の解決」「教育再生」について、「地方分権は内閣の最重要課題である」との答弁を引き出し、あわせて、「総理を本部長にした推進本部設置」を求めました。また、いわゆる「中馬プラン」の問題点を指摘しました。中馬プランは、9月15日に中馬前大臣が発表した「国家公務員の天下り人事院規制の撤廃」であります。談合と公務員天下りは密接不可分なことは、防衛施設庁談合事件でも明らかです。「退職前5年間在籍した職場と関係の深い企業に退職後2年以内に就職するときは人事院の承認が必要」という規制をなくそうというのは断固反対である旨、総理に質しました。総理からは「官民の人事交流に必要」との答えでしたが、「やってはならない」「行政改革の後退」とであると指摘しました。

締めくくり総括質疑後、「地方への税財源移譲の視点」という文言を修正で法案に入れ、「地方分権改革推進委員会勧告が出されたら、国会に対して総理が報告すること」を新たに法案に盛り込み、賛成、可決し、参議院に送付され成立しました。

私からの質問	安倍総理の答弁
「NHK」命令放送事項変更について。	報道の自由を守る。
地方分権推進改革の安倍内閣における位置付け。	内閣における最重要課題の1つである。
平成7年の地方分権推進法案に比べ、地方税財源充実は今度の法案で後退したのでは？	後退してはいない。
多くの本部が内閣府にある。統合が必要では？	検討する。
総理を本部長に閣僚がメンバーの地方分権改革推進本部が必要。	検討する。
相次ぐ地方自治体での不祥事への対策は？	議会によるチェック等、襟を正す必要がある。
政府の「天下り規制撤廃(中馬プラン)」はおかしい。するべきでない。	官民の人事交流が目的である。

防衛省昇格には賛成！

(衆議院安全保障委員会 11月28日)

防衛庁長官には、シビリアンコントロール(文民統制、国会の関与など)の観点から質しました。まず、自衛隊の海外派遣恒久法については慎重であるべきことを述べますと、この点は長官も同じ意見。米軍への物品役務協定 ACSA の付表 2 については、今回の法改正の影響が協定上ある、とのことでしたので、日米で交換公文を交わした場合には国会への提出を求めました。また、付表 2 に派遣恒久法が追加されると「世界中どこでも米軍の後方支援を求められる」との私の見解を示し、だから、海外派遣は特措法で 1 回 1 回慎重に国会で議論を行うべしと求めました。また、条約などの締結はあくまで外務省が主導するとの答弁も引き出しました。質疑終局、賛成し、参議院に送付され成立しました。

官製談合防止法で質疑！

(衆議院経済産業委員会 11月29日)

平成 14 年 7 月に法案提出者として答弁に立って以来、4 年を経て与野党の改正案がようやく質疑、そして現行法案の改正が成立しました。与党案・民主党案ともに、官製談合を主導した公務員への罰則の強化がポイントです。

民主党案は与党案に較べて、以下の 2 点が強化されています。第 1 に、談合の黙認も罰則の対象に含めている点。第 2 に、地方公共団体に談合が多いことから、法改正の対象にしている点です。特に、民主党案が地方自治法の改正に触れているのに、なぜ与党案は触れていないのかを指摘しましたが、明確な答弁はありませんでした。引き続き法改正を求めていきます。



2007 新春の集い



日時：平成19年1月8日(月)

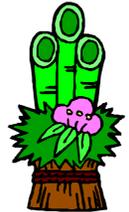
17時受付 18時開会

会場：ラフォーレ清水園

(大宮区東町2-204) TEL 048-643-1234



会費：5,000円



たけまさ公一と行く「国会見学会」

国会議事堂を見学して、議員会館でランチを食べるコースです。

開催日

2月15日(木)・3月14日(水)

5月15日(火)

集合 当日8時30分

北浦和図書館前

会費 3,500円

上記以外の日程でも、随時受付をしております。詳細や不明点などのお問い合わせがありましたら、下記事務所までお気軽にお問い合わせください。

第63回 たけまさ公一と語る会

テーマ「地方選の焦点」

日時：2月18日(日)14時～16時

会場：さいたま市民会館うらわ 1F

浦和区仲町2-10-22

TEL 048-822-7101

参加費：無料

月一回、たけまさ公一を囲みオープンミーティング形式で勉強会を行っています。年内最後の語る会です。事前の申込みの必要はありませんので、ぜひお気軽にご参加下さい。

上記イベントについてのお問い合わせ、申し込みは…

TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846

E-mail: voice@takemasa.org …までお願いいたします。



衆議院議員たけまさ公一 プロフィール

.昭和36年(1961年)生まれ。さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。平成元年、松下政経塾卒業。平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選。平成17年9月、衆議院議員3期目当選。民主党 NC(=次の内閣)総務担当。民主党埼玉県連幹事長。衆議院総務委員会筆頭理事。

たけまさ公一事務所・所在地

浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル 2F TEL048-832-3810 FAX048-832-3846

岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12 TEL048-749-6801 FAX048-749-6802

国会事務所 千代田区永田町2-1-2第2議員会館312号室 TEL03-3508-7062 FAX03-3519-7715